

## 「社会の開拓者に」チャットのご感想

- ・ とても自由に話せました。色々のビジョンはありますが、第一歩としても、次回は、リアルに会いましょうと合意しました。
- ・ 社会の開拓者、そのための第一歩として、自らの本音を響かせる、ということはとても勇気がいるけど大切なことだなと感じました。
- ・ 失敗ばかりだったと普通にお話しされていたのが印象的でした。
- ・ 今日新しい出会いと繋がりができました。これが小さな点を広げる活動、線や面になるきっかけになります。社会の開拓者の第一歩になりました。自分の行動にちょっとだけ変化をつける。ストレッチを続けていきます。ありがとうございました。
- ・ ひとりの力は、一見、小さく思えますが、必ず感動が伝わり、社会に、変革を促していくのだと思いました。
- ・ 身近な小さな積み重ねの第一歩の可能性は無限大だと思いました。
- ・ この機会を、ゲストスピーカーが心から喜んで下さったのがとても嬉しいです。
- ・ 自然から離れてしまっている。無関心。自分の体を大切にする。
- ・ どこまでも自分毎として受け止め、真摯に向き合うことの大切さを改めて教えていただきました。
- ・ 今までとほんの少し違うことをするということの積み重ねが、変革への一歩になるということを実感しました。
- ・ 失敗を許せる社会、一人一人の大切な存在を大切にしていきたいと思いました。
- ・ 失敗はエビデンス。そこから学んで柔軟に対応していく力、不死鳥の如く立ち上がる大人の姿に、子どもたちの変革性が引き出され、発揮されていくのですね。
- ・ 教育者としての熱意、素晴らしいです。日本は捨てたもんじゃない！私もそう思います。
- ・ 先生が継続して来られたという事実が、本当にとても大きな事だと思うとともに、思いの本気度と強さを感じます。未来人として、今を責任と覚悟を持って”生きる”ことを丁寧にしたいと思います。
- ・ 理想、夢を持ち熱意を持つことが大事だと改めて古稀になり、思いました。
- ・ 明るく楽しく元気な社会！何をやってみたいか、をやってみようと思います♪  
インバウンド向けの盆栽ツアーに興味あります！
- ・ 地域の活動でカフェを通じて、共にいること、本音を伝えることが大事だと感じている。  
色んな失敗が、学びだにとらえる人が周りにひとりでもいることで孤独にならず、失敗をおそれないで次のステップへとかえていける社会になっていくのでは。  
そのために自分を認めてあげることが大事。

- ・ 公立学校という現場を拠点に、「理念と情熱を持ったの行動」は人（心）、地域、日本、世界を動かすと思えました。日々の生活への実直なアクションが、共創（支援者、担い手、次世代に本質的に受け継がれる状況）が生まれると思いました。
- ・ 徳永俊一です。いくつになっても褒められることは嬉しいものですね。自己肯定感と自己有用感が芽生えました。非常に貴重な機会となりました。こちらこそ勉強になりました。
- ・ すばらしい世界を覗きさせられました。
- ・ 変革の時は必ず来る。それまでに準備を進める、ということ、とても響きました。
- ・ 小さなことからでも始め、根気強く継続していくことが大きな開拓に繋がっていくと感じました。
- ・ この機会出逢いに感謝。またリアルでお会いして、開拓していきましょう！新しい世界、ワクワクしてます☆ 有難うございました。
- ・ 安心と信頼の土壌の上に、素直に伝えられたらいいなと思いました。  
徳永先生、素晴らしい経験をお話ししていただき、ありがとうございました。
- ・ どこにも変革のテーマは盛りだくさんだと気づきました。ありがとうございました。
- ・ 調和、融合して独自展開できる民族（日本）だと思います。
- ・ もお、とっくに公教育から抜けて独自（違う視点で）で動いてらっしゃいます。

---

## 「社会の開拓者に」終了後のご感想

徳永先生の取り組まれてきた活動は、生徒や保護者、教師の方々の心に大きな変革の影響を与え続けてくださっているはずだと思いました。

1人1人の意志と、地域や地球社会との共創の大切さを感じましたし、また、参加されたお一人お一人のチャットに書き込まれた文章を読ませていただきながら、こういった心からの交流に参加させていただけたことに感謝いたします。

...

- ・ 徳永俊一さんは、今回のタイトルにピッタリのゲストだと実感しました。95%が失敗というコトバがとても印象に残り、それが原動力になっているというのも強く印象的でした。
- ・ 徳永さんの全存在性から伝えられるコトバはとてもエネルギーで心地よくイキイキと伝わってきました。
- ・ 常に、どのような状況からでも未来を意識して語られていたように感じられ、明るい地球共生社会へのハシワタシをされていると、そしてみんなでハシワタシをしましょう！と語りの中から伝わってきた感じがしました。
- ・ 新しい本来の本質的な公へのプロセスを観じました。
- ・ とてもユタカなヒトトキでした。参加されていたみなさんも自然に「社会の開拓者に」もうすでに成っておられたように感じられました。

...

「未来に夢と希望を持てる社会にするのは大人の責任」、課題を自分ごととし、その理念と熱意を持って実践・実証し続ける先生のしなやかな生き様に感動。  
生徒たちの可能性を開発（かいほつ）しながら、同時に社会の仕組みの刷新と変革を加速化していることを感じ、心強い勇気を頂きました。

...

出逢いから始まる新しいことや自分がもともと持っていたかもしれないやりたいことが見つかったり考えが深くひろがったりすることがあるという事。またそのタイミングやキッカケを掴んで前進させていくことが必要で大切な事だということ。失敗をすることで終わってしまう事でも仲間がいることで超えていけるんだという事も今少しずつ感じているところです。

...

トークルームでの対話は、これまでの学びの総まとめと次の役どころへの自覚と確認をさせていただいたようなフィールドシップの働きの妙を実感させていただくことができました。  
カワネ、ラダック、各地のUNIVER-CITIESの活性化の流れが、九州でも芽吹いていくよう、人間としての準備と成長を、フィールドから促されているようにも感じ、仲間と共に参加共創させていただくことができ本当に嬉しかったです。沢山失敗してきた自らも含め、みんなが社会の開拓者であることを実感することができました。

...

徳永先生の38年間も志を貫き今も尚継続され「しっばい…」と言われながら、さらに湧き立つ想いが伝わって来て、「日本は捨てたもんじゃ無い」の言葉に開拓者のソコジカラが伝わってきて、そう「～捨てたもんじゃ無い」と今も深く木霊しています。

...

チラシに書かれた『GU としての「社会の開拓者」とは』に明文化していただいた文章を、日々、目にするにつれ味わい深く、暮らしの中で自分なりに理解を深めていっております。  
また、徳永先生の弛まないご努力と何度も立ち上がる不屈の精神に言葉もないくらい心打たれました。この世に生きて、自らが必要だと感じたことを、様々な創意工夫でやってみること。その真意が伝わらない時、心折れるけれど、でも、させていただくとこと自体が幸せなことだったとなんだか今腑に落ちました。

「失敗を許さない社会」から脱皮して、可能性と許容力あふれる社会への変貌が望めます。  
ガチガチにシステム化、組織化された現代社会の中、「システムを超える、人が先（に変容する）」とお話の中で出てきた言葉が印象的でしたが、あれ以来、時たま、その高まりの気運を観じ、うれしくなっています。

